

平成26年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンオータス
 コード番号 7623 URL <http://www.sunautas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 古川 晴男

TEL 045-473-1211

四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第1四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第1四半期	9,155	8.9	△30	—	△27	—	△91	—
25年4月期第1四半期	8,407	3.6	68	—	75	—	51	—

(注) 包括利益 26年4月期第1四半期 △93百万円 (—%) 25年4月期第1四半期 46百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第1四半期	△28.64	—
25年4月期第1四半期	16.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年4月期第1四半期	13,682	3,589	26.2
25年4月期	13,658	3,720	27.2

(参考) 自己資本 26年4月期第1四半期 3,586百万円 25年4月期 3,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年4月期	—	—	—	—	—
26年4月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	△2.5	100	29.1	100	12.5	60	13.5	18.86
通期	36,000	△3.6	300	6.0	300	4.6	180	1.9	56.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期1Q	3,230,500 株	25年4月期	3,230,500 株
② 期末自己株式数	26年4月期1Q	49,370 株	25年4月期	49,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期1Q	3,181,130 株	25年4月期1Q	3,181,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書 及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第1四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第1四半期連結累計期間	8
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) セグメント情報	9
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
	(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感と円安傾向を背景に、輸出関連の改善と個人消費の増加から景気の持ち直しが見られました。しかしながら、欧州諸国の財政危機や中東情勢の緊迫化、中国をはじめとするアジア経済の成長鈍化から、依然として景気の下振れリスクが懸念され、先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループは、当期を初年度とする三カ年の中期経営計画として「トータルカーサービス」から「トータルライフサービス」への発展的な変革を行うため、生活関連事業の拡大強化を図り、お客様が抱える諸課題と多様なニーズにお応えできるサービス体制を構築するとともに、新規顧客の獲得強化とグループ共通商材の拡販に取り組み、経営基盤の拡充と事業規模の拡大に努めました。

その結果、売上高は9,155百万円（前年同四半期比748百万円増収、8.9%増加）となりました。しかしながら利益面では、中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇と、生活関連事業拡大に伴う先行投資などもあり、営業損失30百万円（前年同四半期は68百万円の営業利益）、経常損失27百万円（前年同四半期は75百万円の経常利益）を計上し、法人税等負担後の四半期純損失は91百万円（前年同四半期は51百万円の四半期純利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。当第1四半期累計期間より事業セグメント区分を再編・変更しております。詳細につきましては、四半期財務諸表（セグメント情報等）に記載のとおりであります。また、前年同期比については前年同期の実績を再編した区分にて再集計した数値を基に算出しており、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

① エネルギー事業（石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備）

当事業につきましては、SS（サービスステーション）による積極的な販売促進策の実施効果から新規顧客が増加し、ガソリン販売数量並びにカーケア商品の販売が増加いたしました。また、直販部門による大口需要家向け燃料油販売の数量増強と、環境対策として掲げる環境車検の生産台数も堅調に推移いたしました。

損益面では、中東情勢緊迫化に伴う石油製品市況の悪化とSS間の価格競争の激化から、適正なマージンを確保することができず厳しい収益状況となりましたが、顧客数は計画以上に増加しており、利益面は次四半期以降に期待をつなぐ結果となりました。

この結果、売上高は4,469百万円（前年同四半期比699百万円増収）、セグメント損失は35百万円（前年同四半期比28百万円減益）となりました。

② カービジネス事業（BMW、プジョー、フォードの輸入車正規ディーラー、オリックス・レンタカー）

当事業の輸入車販売につきましては、各輸入車ブランドの新規ユーザー層の拡大と買い替え促進策の結果、販売台数は引き続き好調に推移しました。新車販売は価格競争の影響により粗利率が低下したものの、来店客数は販売促進キャンペーンの強化とアベノミクス効果により前年同期を上回りました。サービスでは、車検・整備の入庫促進策の実施により好調に推移いたしました。

レンタカーにつきましては、お客様のニーズと需要期に見合った新規車両の拡充と、各チャネルにおける新規顧客の開拓に努めました。当第1四半期累計期間での効果は微増ですが計画どおり進めることができました。

この結果、売上高は4,596百万円（前年同四半期比8百万円増収）、セグメント利益は45百万円（前年同四半期比24百万円減益）となりました。

③ ライフサポート事業（損害保険・生命保険募集業務、訪問介護サービス）

当事業につきましては、生活関連事業の拡大強化を図るため、積極的な先行投資を行ってまいりました。

保険部門では、来店型保険ショップ『ほけんの窓口店』の新規出店の拡大を図り、店舗の認知活動による集客力の強化と人材育成による提案力の強化に努めました。介護部門では訪問介護による生活支援体制を強化するため、人材の確保と育成に努めました。契約件数につきましては、両部門ともに計画どおり推移しており、今後も将来に繋がる投資を積極的に行い、安定収益の確保に努めてまいります。

この結果、売上高は17百万円（前年同四半期比12百万円増収）、セグメント損失は26百万円（前年同四半期比20百万円減益）となりました。

④ 不動産関連事業（ビルメンテナンス業、不動産賃貸業）

当事業につきましては、ビルメンテナンスの営業強化による売上拡大と安定した顧客の確保により、引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上は126百万円（前年同四半期比7百万円増収）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比7百万円減益）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、13,682百万円と前連結会計年度末に比べ23百万円増加しました。これは主として有形固定資産が25百万円増加したことによるものであります。負債合計は10,092百万円と前連結会計年度末に比べ154百万円増加しました。これは主として流動負債が280百万円増加したことによるものであります。純資産合計は当第1四半期連結累計期間の業績を反映し3,589百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は1.0ポイント減少して26.2%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州諸国の財政危機やアジア経済の成長は引き続き鈍化しており、世界経済は先行き不透明な状況が続くものと予想されます。国内においては、政府による経済・金融政策への期待感とGDPの上振れから景気回復の動きが見込まれるものの、今後の消費増税判断と対策によっては需要が後退するリスクも懸念されております。

当社グループでは、引き続き生活関連事業の拡大強化を図り、お客様が抱える諸課題と多様なニーズにお応えできるサービス体制を構築してまいります。また、新規顧客開拓の積極的な推進とグループ共通商材の拡販強化、海外を視野に入れたM&Aに取り組み、事業規模の拡大と業績向上に努めてまいります。

なお、業績予想は、現段階においては平成25年6月18日の発表を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,652,676	1,329,230
受取手形及び売掛金	1,954,625	2,043,060
商品及び製品	2,037,426	2,358,288
原材料及び貯蔵品	10,892	13,629
繰延税金資産	63,355	43,233
その他	775,956	711,211
貸倒引当金	△38,649	△36,647
流動資産合計	6,456,283	6,462,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,220,357	1,202,453
土地	3,890,088	3,890,088
リース資産(純額)	498,270	500,465
その他(純額)	434,488	475,302
有形固定資産合計	6,043,204	6,068,309
無形固定資産		
のれん	5,038	—
その他	19,687	19,321
無形固定資産合計	24,725	19,321
投資その他の資産		
投資有価証券	94,288	92,441
長期貸付金	56,400	53,400
差入保証金	688,838	681,927
繰延税金資産	55,854	60,046
その他	268,586	273,998
貸倒引当金	△29,395	△29,411
投資その他の資産合計	1,134,573	1,132,402
固定資産合計	7,202,503	7,220,033
資産合計	13,658,786	13,682,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,283,820	2,362,422
短期借入金	4,550,000	4,806,000
1年内返済予定の長期借入金	361,310	341,368
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	294,036	292,973
未払法人税等	63,167	7,040
賞与引当金	108,542	51,802
その他	745,687	825,242
流動負債合計	8,436,563	8,716,848
固定負債		
社債	60,000	45,000
長期借入金	687,692	603,195
リース債務	235,831	238,040
繰延税金負債	15,497	15,785
退職給付引当金	381,568	383,539
役員退職慰労引当金	96,992	65,128
その他	24,386	25,114
固定負債合計	1,501,967	1,375,803
負債合計	9,938,531	10,092,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,250	411,250
資本剰余金	462,500	462,500
利益剰余金	2,848,579	2,719,282
自己株式	△27,174	△27,174
株主資本合計	3,695,154	3,565,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,345	20,340
その他の包括利益累計額合計	22,345	20,340
新株予約権	2,755	3,190
純資産合計	3,720,255	3,589,388
負債純資産合計	13,658,786	13,682,040

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
売上高	8,407,465	9,155,965
売上原価	7,001,641	7,783,409
売上総利益	1,405,823	1,372,555
販売費及び一般管理費	1,337,233	1,403,157
営業利益又は営業損失(△)	68,590	△30,601
営業外収益		
受取利息	645	444
受取配当金	879	928
受取手数料	13,378	13,357
違約金収入	6,790	—
その他	3,670	4,288
営業外収益合計	25,364	19,019
営業外費用		
支払利息	18,626	13,931
その他	315	2,408
営業外費用合計	18,942	16,340
経常利益又は経常損失(△)	75,012	△27,923
特別損失		
固定資産除却損	106	592
役員退職慰労金	—	38,249
特別損失合計	106	38,841
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	74,905	△66,765
法人税、住民税及び事業税	17,947	7,932
法人税等調整額	5,937	16,425
法人税等合計	23,885	24,358
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	51,020	△91,123
四半期純利益又は四半期純損失(△)	51,020	△91,123

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	51,020	△91,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,704	△2,005
その他の包括利益合計	△4,704	△2,005
四半期包括利益	46,315	△93,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,315	△93,128
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年5月1日 至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,731,891	4,560,429	4,844	110,298	8,407,465	—	8,407,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,393	27,107	—	8,834	74,334	△74,334	—
計	3,770,284	4,587,537	4,844	119,133	8,481,800	△55,811	8,407,465
セグメント利益又は損失 (△)	△6,877	69,561	△6,250	30,680	87,113	△18,523	68,590

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△18,523千円には、セグメント間取引消去26,966千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△45,490千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,428,313	4,591,151	17,525	118,973	9,155,965	—	9,155,965
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,348	4,858	—	7,608	53,815	△53,815	—
計	4,469,662	4,596,010	17,525	126,582	9,209,780	△53,815	9,155,965
セグメント利益又は損失 (△)	△35,809	45,328	△26,756	23,184	5,946	△36,548	△30,601

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△36,548千円には、セグメント間取引消去39,165千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△75,714千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループでは、従来、報告セグメントを「ライフエネルギー事業」「カーライフサポート事業」「カービジネス事業」「不動産関連事業」の4つとしておりましたが、『トータルカーサービスからトータルライフサービスへ』の経営方針のもと、業績管理単位の変更を行ったことに伴い、当第1四半期より「エネルギー事業」「カービジネス事業」「ライフサポート事業」「不動産関連事業」の4つに変更しております。

これは、自動車保険以外の保険も総合的に取り扱う「ほけんの窓口」店舗の稼働が本格化したのを契機に、従来「カーライフサポート事業」に含まれていた保険事業と、従来「ライフエネルギー事業」に含まれていた訪問介護事業を、トータルライフサポートの視点でまとめて管理することになったため、「ライフサポート事業」という報告セグメントを新たに設けたものです。

これに伴い、従来「ライフエネルギー事業」に含まれていた石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備事業等については、引き続き1つの報告セグメントを構成し、名称を「エネルギー事業」に変更しております。

また、従来「カーライフサポート事業」に含まれていたレンタカー事業は、関連性の高い自動車ディーラー事業等と併せて管理することとなったため、報告セグメント上も「カービジネス事業」に含めて表示することとし、従来の「カーライフサポート事業」は廃止致しました。

「不動産関連事業」については、従来と変更はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。